

# 所報 いぶり

胆振教育研究所

第4号

令和元年10月25日発行

## 研究委託校・実践校の紹介

### 洞爺湖町立虻田小学校

公開研究会 11月15日(金)

洞爺湖町立虻田小学校では、「自己を発揮する個人と互いに認め合い、高め合う集団の育成」を研修のテーマに掲げ、「話す・聞く力を育てる言語活動」を意識した授業の改善に取り組んでいます。3年計画の3年目で、これまでの成果や課題が見えてきました。成果として、「話し合いのルール」を明らかにすることで、児童も教員も見通しをもって取り組めること、「話型」を明らかにすることで、話し合いの目的が明確になることがあります。課題として、各学級の話し合いの取組方に差があり、もっと具体的なきままりの改善が必要であることが見え、取組を強化していきます。これからの教育において、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が求められています。本校でも、ますます話し合い活動を充実させると共に、様々な教育活動の中でもいかしていきたいです。

自己を発揮する個人と互いに認め合い、高め合う集団の育成  
～話す・聞く力を育てる言語活動が充実した国語科・算数科の授業を通して～



2年 国語科  
話し合い活動をしているところ



5年 国語科  
討論をしているところ

### 白老町立虎杖小学校

公開研究会 11月19日(火)

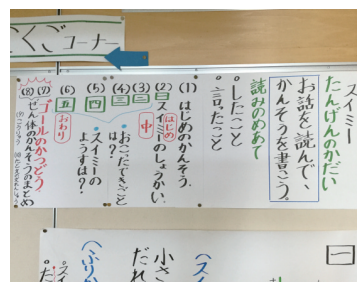
本校には複式学級がある。児童が主体的に学習を進める力が複式学級では必要不可欠である。そのためには自ら考えをもつこと、根拠を明確にして説明することなどが求められる。国語科の授業改善を通して、そのような子の育成に取り組んでいる。今年度は、①学習リーダーの育成 ②指導事項を明確にし、言語活動を位置づけた学習計画の作成 ③CRTや全国学力・学習状況調査を活用した授業改善に取り組んでいる。

自ら考え学ぶ子を目指して

～国語科における指導事項を明確にした授業改善を通して～



1年 国語科  
「うみのかくれんぼ」学び合いをしているところ



2年 国語科  
「スイミー」単元課題掲示



# 登別市立幌別西小学校

公開研究会 1月29日(水)

**主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり**  
～児童が学びを実感できる学習活動の工夫をとおして～

本校では、昨年度から「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり」を研究テーマに設定し、3年計画で研修を進めています。

2年次の今年も、昨年に引き続き、「主体的な学び方を身に付けさせる指導の工夫」「対話的な活動を通して学びを深める個・集団の育成」について、昨年度の反省を生かしながら研究内容を具体化、焦点化して取り組むことで、授業改善を図っています。令和2年度の新学習指導要領の完全実施を見据えて、道徳教育、外国語、人材育成、プログラミング教育の取組も具体的に先行実施しているところです。



3年 道徳科  
「道夫とぼく」ネームカードで立場を決めているところ



2年 算数科  
「長方形と正方形」ペア交流をしているところ

# 豊浦町立豊浦小学校

公開研究会 今年度予定なし

**関わりやつながりの中で自己の生き方について**  
**考えを深められる児童の育成**

～考える道徳、議論する道徳の授業づくりを通して～

本校は、道徳科を研究領域とし、4年計画で研究を進めています。

2年次である昨年度は、展開前段の教材で考える場面の工夫について検証をし、教材の事前読み、事前アンケート、教材の分割掲示や心情メーターなどの有効活用をしてきました。3年次である今年度は、関わりやつながりの中で自己の生き方について考えるために、議論する道徳の研究を中心に取り組んでいます。ねらいに向かってよりよく議論するための発問の仕方や、展開後段となる交流場面での議論のたせ方などを工夫しています。



2年 道徳科  
「ぼくのサッカーシューズ」心情メーターを使って、自分の考えをワークシートに記入しているところ



6年 道徳科  
「どうすればいいの？」グループで考えを交流しているところ



# 厚真町立厚真中央小学校

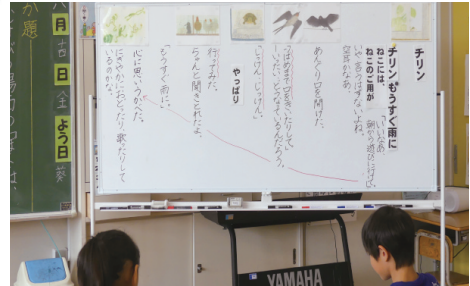
## 公開研究会 次年度開催予定

### 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 指導方法の工夫

～確かな読みの力を育む国語科の授業づくりを通して～

本校は、国語科を研究領域とし、3年計画で研究を進めています。

2年次である今年度は、「確かな読みの力を育む効果的な指導方法の工夫」を視点とし、授業者の明確な指導観に基づいた発問や交流、板書などの指導方法の工夫について研究を進めています。また、研究協議では、グループ協議によるワークショップを行い、指導方法の工夫について、成果や課題、改善策を明らかにし、授業改善に取り組んでいます。



3年 国語科  
「もうすぐ雨に」 学びを振り返るサブ黒板の活用



6年 国語科  
「森へ」 読みを深めるための交流をしているところ

# 白老町立白翔中学校

## 公開研究会 次年度開催予定

### 主体的に学ぶ生徒の育成

～秋田型授業をモデルとした授業改善を通して～

本町では、教育委員会を中心に、児童生徒の学力向上策を示した「白老町スタンダード」を策定し、町内の小中学校で、「授業の充実」、「学習環境の充実」、「家庭学習の充実」の3つの視点で学力向上に取り組んでいます。

本校でも、白老町スタンダードの3つの視点で、学力向上のために様々な取組を推進し、自ら進んで積極的に学ぶ生徒の姿を目標にしたことから、研究主題を「主体的に学ぶ生徒の育成」として、適切な学習課題の設定や、それに正対するまとめ・振り返りの在り方の研究等、様々な取組を行っています。



1年 数学科  
考えを出し合い、お互いの考えを比べているところ



2年 国語科  
学んだことをもとに発表し、生徒が相互評価をしているところ

## ＜研究主題＞

## 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり(2年次)

## ＜主題設定の理由＞

## 教育改革の動向より

情報化やグローバル化といった急激な社会的変化の中では、子どもたちに未来の創り手となるために必要な力を確実に備えさせることが、これからの学校教育に求められています。

平成29年に告示された新学習指導要領では、これまでの学校教育の蓄積を生かし、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指しています。そのために、全ての教科等の目標及び内容を、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理されました。また、総則において「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」について規定されました。

このような資質・能力を育むために、学びの量とともに、質や深まりが重要であり、子どもたちが「どのように学ぶか」という「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められます。

## 学校現場の声から

また、平成28年度の本教育研究所の調査課題研究「アクティブ・ラーニングの取組アンケート」から、次のような課題が見られることがわかりました。

《課題として見られること》

- 実践している教科・領域に差があること。
- 教職員間や学校間でアクティブ・ラーニングに対する共通認識を図ること。
- アクティブ・ラーニングの実践的なおさえを具体化していくこと。

胆振管内の小・中学校が、どの教科・領域においても「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を推進するにあたり、学習指導要領改訂の背景や新学習指導要領が目指す姿についての共通認識を図ることが大切だと考えます。



## 【2年次】 理論研究に基づく実践研究

- ・ 学びの質を高める「主体的・対話的で深い学び」の具体的な実践について
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」に向けたカリキュラム・マネジメントについて
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の成立に向けた取組について(Q&A方式)



教育理論に関する研究の紀要として発行(2月末予定)



調査課題研究

# 今年度の 研究について

胆振管内の小中学校を対象に、各校における「特別の教科 道徳」全面実施に関するアンケート調査を実施（7月）



考察を加え、調査課題  
研究の紀要として発行  
(2月末予定)

アンケートの集計結果から、管内の学校における「特別の教科 道徳」の取組の状況や課題を平成27年度の調査と比較分析



令和元年度 胆振教育研究所

## 「冬季研修講座」のご案内

■ 講座のテーマ：「通常学級における特別支援教育」（仮題）

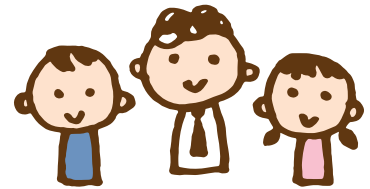
■ 講師：高杉 祐之 氏（江別市立大麻小学校教諭）

日時 令和2年1月9日（木）10：00～11：40

会場 登別市民会館

対象 小・中学校の教員

内容 子どもと教師の困り感を成長に繋げる学級・授業づくり など



※詳細につきましては、各校に送付する要項をご覧ください。

### 【研修講座 問い合わせ先】

胆振教育研究所 所員（伊達市立光陵中学校 教諭）宮崎雄太郎  
〒052-0031 伊達市館山町49番地1 TEL0142-25-4111 FAX 0142-25-4112  
Mail : yutaro-miyazaki@ed.city.date.hokkaido.jp

# 令和元年度

## 第74回 北海道教育研究所連盟研究発表大会(空知大会) 兼 第61回 全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会

令和元年8月29日(木)・30日(金)ホテルスエヒロを会場に北海道教育研究所連盟研究発表大会が開催されました。北海道教育研究所連盟共同研究について研究協議を行うとともに、各加盟機関での教育研究、教員研修等の取組について、交流・協議することにより、北海道教育の一層の充実・発展、並びに所員及び研究員、教職員の資質向上を図ることを目的に開催されました。

### 1日目 全体発表・記念講演

#### ■ 全体発表

##### ○発表者

令和元年度共同研究推進委員会委員長  
空知教育センター研究所員 高山 幸

##### ○第16次共同研究主題(3年次目)

「これからの時代の教員に求められる資質・能力の向上に係る支援の在り方」  
(北海道教育研究所連盟 共同研究推進委員会)

##### ○研究内容

##### 研究内容1 コンテンツによる支援

- ・研修コンテンツの活用事例の収集、研修コンテンツの改善
- ・「道徳科の授業づくり」に関わる研修コンテンツのプレゼンテーション動画の活用事例の収集、改善
- ・メンター研修コンテンツの活用事例の収集、改善

##### 研究内容2 ICTの活用による支援

- ・道研連で購入したWi-Fiルーター等の活用を希望する教育研究所・研修センターに貸し出し、ビデオ通話ソフトウェア(Skype)等を活用した研修等を実施

#### ■ 記念講演

○演題 「教育研究所・センター所員の資質能力向上に向けて～新学習指導要領全面実施に向けたプログラミング教育やICTを活用した授業改善への支援～」

○講師 国立教育政策研究所教育課程研究センター  
研究開発部  
教育課程調査官 上野 耕史 氏

### 2日目 部会別研究発表及び協議

#### ■ 部会別研究発表及び協議

##### ①テーマA「プログラミング教育の

全面実施に向けた取組」

- ・外部機関を活用したプログラミング教育の推進に向けた取組の具体  
室蘭市教育研究所 椎名 孝

- ・研究指定校と連動した「プログラミング教育」に関する研究の具体

岩見沢市立教育研究所 上村 康人  
稲場 亮太

##### ②テーマB「ICTを活用した

授業改善に関する取組」

- ・確かな学力を育む学習指導とICTの在り方～ICTを効果的に活用した指導を目指して～  
檜山教育研究所 鈴木 秀樹

- ・ICTを活用した授業改善の在り方に関する研究の具体

渡島教育研究所 鈴木 悠太

※研究発表大会の詳細につきましては、北海道教育研究所連盟のホームページをご覧ください。随時更新される予定です。

<http://www.dokenren.hokkaido-c.ed.jp/index.html>

■発行所 胆振教育研究所 TEL・FAX 0143-80-3100 ホームページ <http://www.iburi-education.jp>  
〒059-0551 登別市登別温泉町123-1 のぼりべつ文化交流館 カント・レラ2階

■発行者 土井 嘉 啓

■印刷所 (有)デザインワーク・エーチ 登別市幌別町6-20-34 TEL 0143-88-1890・FAX 0143-85-1890  
E-mail work.d@bridge.ocn.ne.jp

所報

いぶり